

OMC事務局 〒565-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL0720-50-5781

平成10年10月(1998年) No. 394

OMC映像フェスティバル作品決まる

このほど世話役会におきまして、11月29日(日)13時より阿倍野市民学習センターで予定されている第38回「OMC映像フェスティバル」のプログラムが決定されました。今回は新人作品4本を含む15本の多くの作品で構成されました。一昨年までは関西シネクラブとの共催、昨年は招待作品を入れての12本でしたので、OMC単独で15本というのは38回という伝統ある発表会でも初めてのことかと思えます。まさに今回の発表会は会の発展の証として喜ばしいかぎりです。この上は来期に向けて、内容的にもますます良い映像を期待したいものと念願しております。

■プログラム編成 司会 合原一夫 (上映順)(敬称略)

①「かにかくに・親まれる白川」宮崎紀代子、②「帆船”あこがれ”乗船体験記」勝成忠、③「春を呼ぶ炎の舞」森保信、④「或る村祭り」奥宏、⑤「冬・丹後半島」田邑芳潤、⑥「エーゲ海クルーズ」那須典彦、⑦「チンチン電車」安居利次、⑧「霊場・高野山」前田茂夫<休憩>、⑨「梅花藻の咲く川」森口吉正、⑩「新装一年・京都駅ビル」安居良枝、⑪「ヨーク市散策」上総修一郎、⑫「万灯」江村一郎、⑬「ANOTHER DREAM」有村博、⑭「パロディ合唱」関剛、⑮「素顔のキャンマー」合原一夫、以上。

10月例会日までにはプログラムの印刷が終わり、お渡しできるものと思いますので、お友達、お知り合い等へのPR、観客動員にご協力下さるようお願いいたします。

10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜日24日18時より、阿倍野市民学習センターにて。10月よりOMCの新会計年度になります。今年度もますます会が楽しく充実した会に発展していきますよう会員諸氏のご協力ご支援をお願いいたします。なお10月例会では途中で総会の時間を若干とりますが、作品上映はいつも通り行いますので、どうぞ作品をお持ちください。新会計年度ですので、会費(1万円/年)の納入をお願いします。どうぞよろしく。

9 月例会のレポート

このところ台風と大雨であちこちに被害続出、そういえばからりと晴れた日が長く続かないといった今日この頃、例会日はまずまずの天候。会員諸氏の集まりも会場の椅子が丁度一杯のまずまずの盛会。作品の方は12本という理想的な本数?で比較的ゆっくりしたペースで進行できました。

長らくご欠席中だった藤原さんがひょこりお元気な姿を見せられほっとしました。大阪市中央図書館で行われる11月1日の映像祭にも昨年同様、機械操作担当として受け持っていたくことになり安心しました。また、中尾さんが初めて作品をお持ちになり、ポエム調のムード映像でかなりの力量が伺えました。なお、今月上映までの作品のなかから映像フェスティバル作品を選びました。

■進行担当 司会：合原、書記：安居、デッキ係：渡辺、受付：増池

■今月の出席者（敬称略）

有村、江村、岡本、奥、上総、勝、金子、合原、越本、関、中尾、花岡、藤原、前田、増池、松本、森、森下、安居、安居良枝、渡辺、森口、山口の23氏

■上映作品（今月の短評は安居利次さんの担当です）

1. 堺市民まつり 森 保信さん 8分55秒
民間主催の堺まつり、肩のセカメラで撮られているので、移動撮影も安定した画面です。太鼓の演奏、それを見る観客、それらのカットの組合せなど、ベテランの編集で、見ていて臨場感があります。記録映像としては、申し分ありません。ストーリーとして何処かに、山場があれば、また、撮影者のコメントがあれば、もっとよかったのにと思いました。

2. 散策 6分25秒 増池 茂さん
山中温泉の旅館の窓辺、奥様がアップで写って、眼下の溪流を見ておられる。その溪流沿いに小道、散策のタイトルから、次ぎの展開が予想される、すばらしい導入場面です。遊歩道にそって、自然の景色がお地蔵さんや石だたみのカットをはさんで展開されます。散策ですから、出来れば、奥様に、もうすこし出演してもらい、三脚で安定した画面をいれて、構成すれば散策の真髄が表現出来たのでは、ないでしょうか。

3. ヨーク市散策 上総修一郎さん 10分
前回の作品に音を入れ替えられたそうです。カットはそのままのことですが、ぐっとよく解る作品に仕上がっているのに、びっくりしました。中世のイギリスの面影が画面によく現れています。それにしても樺太の北部と同じ緯度にあるとは思えません。メキシコ暖流の力はすごいです。PC10での撮影だそうですが海外旅行は、小型カメラに限るという声しきり、それと解説のナレも必要条件の一つだと思いました。

4. 萱葺きの里に秋 森口吉正さん 5分
 京都、美山のしっとりとした美しい風物詩、一枚一枚の絵もかっちりとお撮りになり、水車にしても数カット、角度とサイズをかえて、丁寧に描いておられます。始めに出てきた小雨のなかでの三輪車に乗った子供の服の色は、逆対象で印象に残ります。偉そうな言い方ですけど、一作一作、着実に、風物詩の分野を‘もの’にしていかれているなと感じました。
5. 帆船‘あこがれ’乗船体験紀 勝 成忠 8分
 一番驚いたのは、勝さん自身がマストの上へ、PC-7といえどもカメラを持って、上がられたと言う事です。揺れる船の高いマストの上で、撮るのは、高所恐怖症の私には考えられぬことなのに、そこで単なる乗船体験記だけではなく、縄梯子でのぼるこわごわの女の人の表情をよくとらえられたと感心しました。ナレがなくても充分全体のながれは把握できますが言葉があれば完成度が更に増したでしょう。
6. 万灯 江村一郎 5分15秒
 前回の作品を再編集されたもの、全くすばらしい作品に生まれかわりました。四天王寺と八尾の万灯祭からのカット繋ぎですが、江村さんならではの、詩情あふれる編集は、見ている全員をうならせたようです。特にラスト近くローソクの火にてらされた女の人が感きわまったように何回か頭を下げているカットは、印象的でいつまでも心に残りました。
7. ANOTHER DREAM 有村 博 4分11秒
 東京アマチュア映像祭の入選作。大阪の夜景をもとに、エフェクター、ミラー、TVのブラウン管へのハウリング現象をも使った光りの芸術編集です。一つ一つのカットは、ああ、あれだな、と理解はしますが、BGMにのせてつないでいくのは、大変な手間と努力が要ると思います。勿論、全体のながれは、感性です。8mm時代から培われた長年の成果の賜物が開花したものでしょう。ちよっと真似は出来ません。
8. 新装一年京都駅ビル 安居良枝 4分30秒
 京都駅ビルに始めて、行って、感じたままを現した作品。始めのナレが聞き取りにくい。本人は家では、そんなことなかったと反論したが、客観的事実はみとめざるをえないでしょう。ローランドのA6で音入れしたので、まだまだ機械が言う事を聞いてくれないのが実情で、帰ってから、何回かナレの入れ替えをやりBGMを少し下げてやり変えました、と作者の後日談。
9. 都会に残る路面電車 安居利次 5分
 本当は電車の種類や特徴を現したかったのですが、そんなんマニアしか受けへんと家内にいわれて、がらにもなく郷愁を全面にうちだしました。12ch的から抜け出たくてあせっています。タイトルは‘硬すぎてあかんで’といわれて、チン電に改めました。夫婦で朗読教室に通い出しています。折角買ったローランドA6、機械に負けない音作り、を頑張ります。

10. 河内音頭発祥の地常光寺盆踊り 奥 宏 7分45秒

河内音頭に新と旧がある事は知りませんでした。こういう作品は何を主体に描くかをきめてかからないと、損をするとは司会者の弁でした。河内音頭の解説がテーマなら、全体にナレがいるでしょうし、おどりが主体なら、音そのままにしてインサートでアップのカットなどを入れていく方法がよいとのこと。でもそうするためには、2人でとるか、音中心で少し長めのカットをとっておいて、そこにインサートするかですが、どちらにしても大変な事です。

11. 悪魔の呪文 関 剛 6分

昭和49年のアニメ作品、すこし省略を覚えたと言っておられますが、400枚の絵をかくのは本当に大変な事です。絵心がある事も才能ですが、それ以上に、風刺作品を作るためには社会全体をみる客観的な、しっかりした視点を持っていなければ作れません。24年後の今日みて、なおその視点が通用するのに、驚きます。風刺とは感性です。こういう感性が持てたら、と密かに思うのですが、かなわぬ願望です。

12. 我が心の秋 中尾雅博 4分20秒

こういうポエムは、見る人にそれぞれ、どういう、うけとられ方をして、それはかまわないと作者は考えていると思います。小道具に大きな意味はないと言え言過ぎかもしれないがむしろ、音楽のムードが主であって、見る人が、それぞれ、勝手に小道具から自分なりに、心の秋を連想したら好いことでは、ないでしょうか。理屈ではない作品に初めてあって、いろんな人がいるもんだと楽しくなりました。

以上で上映を終わり、9時少し前に散会。喫茶組と一杯組に分かれて二次会へと席を移しました。

今期の世話役と役割分担が決定

世話役会で新年度の役割分担を下記の通り決定しました。前期も途中からいろいろとお世話願っていた安居さん、増池さん、渡辺さん、田邑さんと安居良枝さんには正式に世話役として加わっていただき、会の運営にご協力いただくことになりました。新しい役割分担といっても前期の継続で変わりません。

- ①会長兼総務：合原一夫、②会計：森保信、③広報：合原一夫、前田茂夫、
- ④例会・司会および書記担当：合原一夫、関 剛、有村 博、安居利次
(但し安居さんは書記のみ)、⑤例会・デッキ係：渡辺雄史、田邑芳潤、
- ⑥例会・受付兼スイッチ係：増池 茂、安居良枝、⑦企画：世話役全員の
合議による、⑧相談役：上総修一郎 総数11名